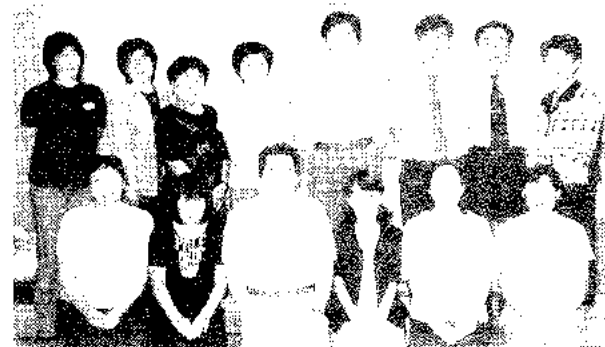


# きずな

思いやる 心で築く 明るい地域

## 部 会 だ よ り



副部長 角 恵子

子どもたちに『生きる力』をはぐくむためには、学校・家庭・地域社会が共に手を携えることが大切です。地域社会では、地域の大人みんなで子どもたちの成長を見守り、子どもたちに豊かで多彩な体験の機会を与えてあげたいものです。  
『二世代のふれあい』を活動の中心に置き、地域を挙げて家庭教育の推進をしてきた豊浜地区

家推協、私たち広報部では、『見聞広報紙』をめざして編集活動に取り組む、各部の活動状況や地区の行事、我が家の紹介等写真入りで紹介してきました。  
年に二回の発行ですが、前の物と似通らないように、お年寄りや子どもたちにも見易いように、企画やレイアウトに頭を悩ませながらの編集作業でした。  
今後も広報紙『きずな』が、地域と家庭を結び架け橋になるよう願っています。



ふれあい活動部

副部長 太田修平

二十一世紀の幕も開いて降ろされ、新時代となりました。新しい手として今の青少年の活躍の場となります。故に青少年の健全育成が必須業務となります。  
ふれあい活動部では、主に夏の「グラウンドゴルフ大会」と冬の「二世代ふれあい歩け歩け大会」を催しています。グラウンドゴルフ大会では、親子・友達同志でひとつのボールを追いかけ回します。ナイスプレイや惜しいプレイにボールもひとつ心もひとつに協力し合います。  
歩け歩け大会では、二世代の参加を呼びかけました。地域の丘陵地を散策し、自然の中で大いに心身をリフレッシュし、ゴールした時の充実感に浸れます。  
地域の人々の素朴さ、郷土愛の深さ、そうした良い点をいつまでも後世に受け継いで、大なる飛躍をしてもらいたいです。

### 教育環境部

副部長 相川芳満

教育環境部では、今年度から「朝のあいさつ運動」を始めました。月に一度所定の街頭に立つて登校時の生徒・児童にあいさつをすることで、ふれあいを広げていこうという事です。切め

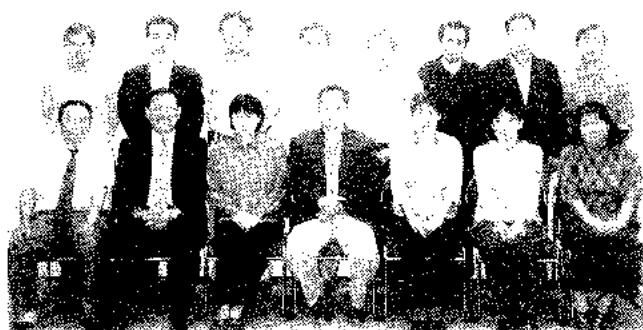
### 「みなさん 空き缶や空きビンを

ポイ捨てしないでね」

クリーン作戦



て「あいさつ運動」に立った時、小学生はもとより中学生もあいさつが返って来ました。以外で思ったには無視する子供もいると思っていたからです。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「ありがとう」と短い言葉ですが、人との関係は、あいさつから始まるといえると思います。まず自分の家庭から始めて地域全体に広がっていくれば、よりよい関係が出来ていくのではないのでしょうか。これからも教育委員会が地道に活動が続いていきたいと思っています。そのためにも皆さんの御協力をお願いします。



### 編集後記

テレビのニュースから流れてくる凶悪な事件のあまりの多さに興味を示さなくなり、またかという気持ちにさえしてしまいます。なぜこのような事件が起こるのか私達大人は考え、せめて私達の住んでいる町からは、このような事件は出たくありません。家推協を通して、地域のつながりを、もつともっと、身近に感じ、子供達には縦のつながりを大事にして、人間らしく大きく成長してほしいものです。家推協の活動を通して、そのお手伝いができれば幸いです。地域の皆様には、御協力を頂き、ありがとうございました。



### 「みんなであらゆる歩けば

めっちゃ楽しい」

三世代 歩け歩け大会

# 第5号の「難問コーナー家族で挑戦」にご応募ありがとうございました

- 173名の方にご応募いただきました。
- 家推協活動への貴重なご意見に感謝します。
- お寄せいただいたご意見を紹介します。
- ◇印はご意見、♥印は要望への回答です。



ねじりはちまき

**寄せられたご意見へ**

◇各種の事業や活動に、地区のすべての人々が参加できるような行事を考えてください。

♥ふれあい活動部では、「三世代ふれあい歩け歩け大会」を家族全員参加の活動として位置づけ、世代を越えてのふれあいを深めていきたいと思います。

◇私は身体に障害があるため、現在の家推協の行事には参加できません。身障者でも参加できるような行事をお願いします。

♥三世代のふれあいを大切にしたいと思えば、身体の不自由な方々も大勢対象になると、改めて気づかせていただき、改めまして、来年度に向けて、誰でも参加できる行事の企画が大切なことを反省点として、来年度に生かします。

◇せっかく写真の多い広報紙です。カラー印刷にしてください。

◇写真をカラーにしてください。発行回数を増やしてください。

♥温かい励ましとともにいただいた要望です。現在の予算と人手を考えると、現状を維持することが精一杯です。

# 三世代 笑いあふるる 良い家庭 大切な 家庭・地域の助け合い け大会



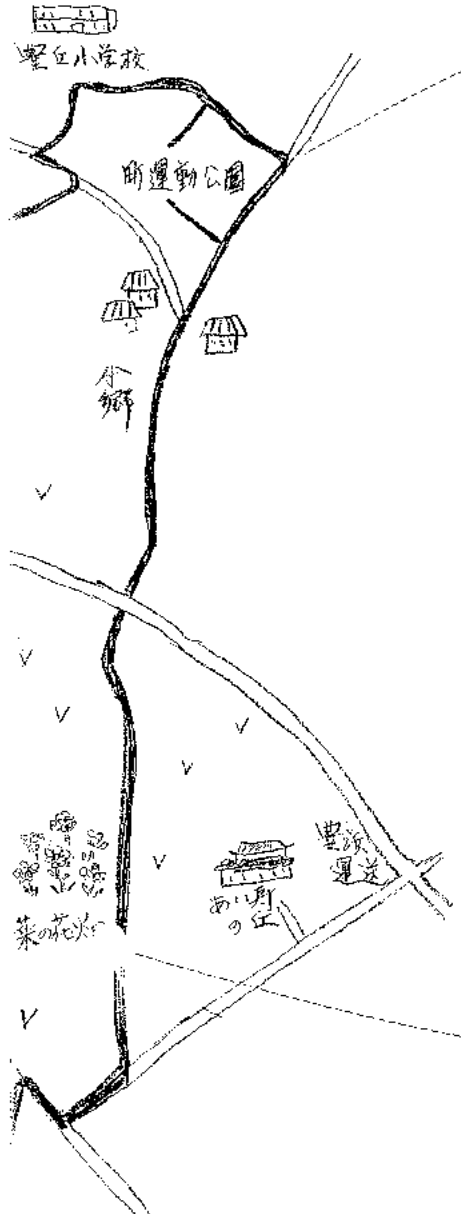
86歳のおじいちゃん元気!

**三世代ふれあい歩け歩け大会に参加して**  
鳥居 與吾 音彦

初めての歩け歩け大会の参加にとまどいながら小学生の遠足のような気持ちで出かける。私の年代の人は見当らないのがちよつと淋しい。小学校を出発し中学生が毎日通う清水谷の坂道にかかるとみるみるうちに皆に追いつかれてしまう。こんなはずではなかったが、観音参りなどでは皆の先頭を歩いて来た最近の自分の足に自信をなくしてしまつた。孫は友達と先に行つてしまつた。息子は最後迄私と一緒に歩いて居た。

**歩け歩け大会**  
豊小四年 滝本 麻紀

今日は、ふれあい歩け歩け大会にさんかしました。出発する前は、寒くてふるえていました。でも、歩いていくうちにあたたくなつてきて服を一枚ぬぎました。とちゆうの畑に菜の花がいっぱい咲いていました。そこだけ春が来ているみたいでとてもきれいでした。最後のほうは足がつかれてきたけどがんばつて歩きました。ゴールしてから食べたおしるこはとてもおいしかったです。



雪のため一週間延期になり、一月二十八日(日)に三世代ふれあい歩け歩け大会が行なわれました。三歳から八十六歳までの二百九十人が参加し、自然を満喫しながら元気いっぱい約七kmの道のりを歩きました。



お父さん まって



ワーッきれい!! 菜の花のじゅうたんだ



ぜんざい おいしい♡



大好きな おばあちゃんといっしょだよ

**問題A** 長方形の対角線の長さは同じであり、対角線は円の半径となり、辺ABの長さは4cmである。

**問題B** 長方形の対角線の長さは同じであり、対角線は円の半径となり、辺ABの長さは4cmである。

**問題C** 長方形の対角線の長さは同じであり、対角線は円の半径となり、辺ABの長さは4cmである。

**問題D** 長方形の対角線の長さは同じであり、対角線は円の半径となり、辺ABの長さは4cmである。

**当選おめでとう!**

正解者の中から抽選の結果、次の方が当選されましたので、図書券をお届けしました。

問題A - 青木 繁昌様 (豊小5年)

問題B - 木学 まい子様 (18才)

問題C - 與吾 恵未様 (豊中2年)

問題D - 河合 源紀様 (52才)

**問題A** 長方形の対角線の長さは同じであり、対角線は円の半径となり、辺ABの長さは4cmである。

**問題B** 長方形の対角線の長さは同じであり、対角線は円の半径となり、辺ABの長さは4cmである。

**問題C** 長方形の対角線の長さは同じであり、対角線は円の半径となり、辺ABの長さは4cmである。

**問題D** 長方形の対角線の長さは同じであり、対角線は円の半径となり、辺ABの長さは4cmである。

**正解**

**問A** 形も面積も同じです。

※面積が同じになるものは、たくさんあります。

**問B** 長方形の対角線が半径になるので、辺ABは4cmです。

**問C** 長方形の対角線が半径になるので、辺ABは4cmです。

**問D** 長方形の対角線が半径になるので、辺ABは4cmです。

※他の数字の組み合わせでも、正解となるものがあります。



足もと 気をつけて ゆっくりね

# 三世代ふれあい 歩け歩



お手々 つないで



ハイ ポーズ!

今は、どんなに近い所でも車に乗って出かける事が当たり前のような生活をしているため、こういう行事がなければ、わざわざ歩いてみようなんて思いうる事ありません。しかし、歩いてみると、回りの自然の様子を身近に感じられたり、休もボカボカして気分まですっきりしてきたのです。時間半ぐらいのあっという間でしたが、親子三世代で共に充実したひとときを過ごすことができました。

## 歩くことのすばらしさ

中村 滝本和美



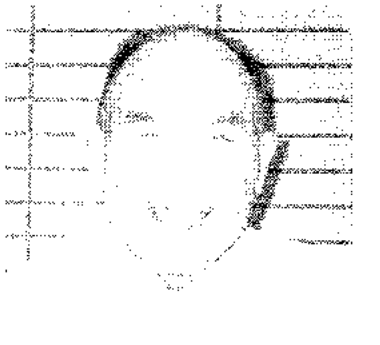
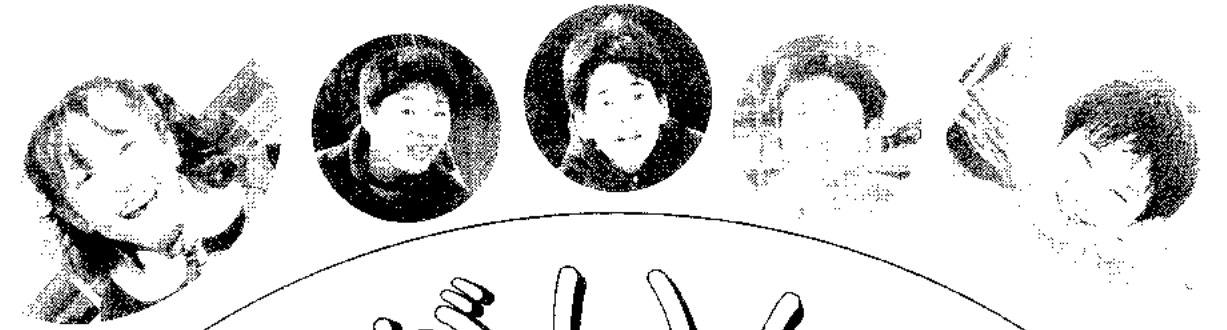
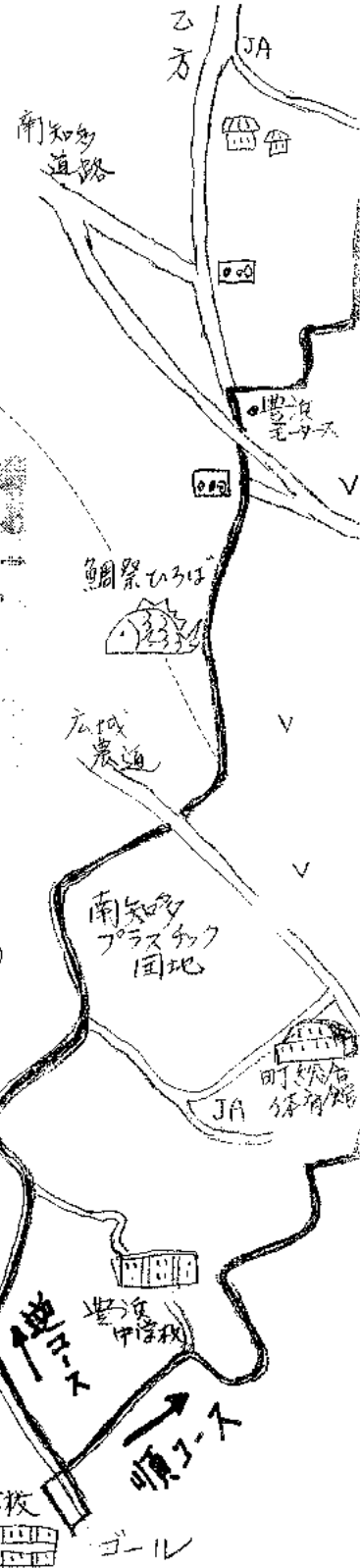
チェックポイントクリアー 次へゴー!

「お父さん、家族協会の歩け歩があるけど来られる？」と、今年もまた娘が誘ってくれた。毎年家族と一緒に参加して、今年で四度目となった。歩き始めて直ぐに友達と先に行ってしまう娘に、日頃の運動不足を思い知らされるが、置いてきぼりの親同士、いろいろな話題で盛り上がりながらマイペースで完歩する。疲れた身体を美味しいお汗粉が癒してくれるとき、家族一緒に参加できる幸せと大切さを感じる。

## 四度目の歩け歩に参加して

小佐 山本明宏

「コマ地図よく見て歩いてね」



**子供の躰には愛と鞭**

中洲 大岩 和正

此度保育所にて祖父母とのふれあい会を計画され参加しました。孫は二週間も前から必ず出席してくれるよう嬉々として頼みに来ました。大変有意義な会でした。幼児期の記憶は全部将来に生かせるものではないが特に心に焼き付いた事柄は永久に心の中に残っています。物の善悪は少しは解っている年令です。孫と共通の話題で楽しく話し合っ少しづつ道理を説明して鞭を使い普通の人間として成長してくれるよう楽しみにしています。



きれいなったよ!

**力を合わせて**

豊中三年 山本 和実

私は半月区のクリーン作戦に参加しました。ゴミ拾いをする前に比べると、とてもキレイになっていました。地域のみなさんがたくさん参加してゴミ拾いをした結果トラックいっぱいゴミを拾うことができました。ゴミが多かったということは残念ですが、地域のみなさんというしよになって作業をするという機会はなかなかないのでいっしょに作業ができてよかったと思えました。朝からとても気分よく過ごせた一日でした。

**もちつき大会**

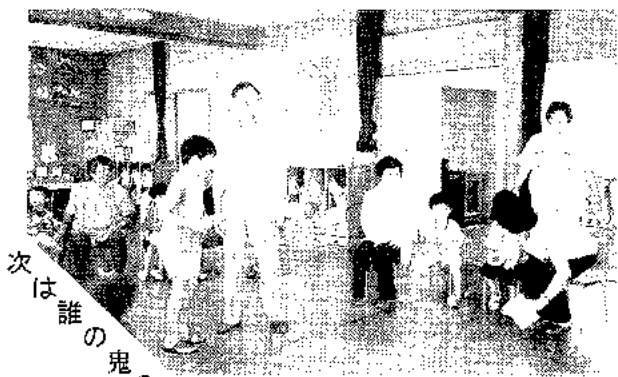
豊小五年 相川 秀人

12月17日、ポイスカウトの活動で、①さんの塩干場で、もちつき大会をしました。ぼくがもちをついた時、去年より楽にできたので、力がついたらなあと思いました。でも、少しやったら、すぐにつかれてしまいました。もちを丸める時、あんこを入れてどじるのが、粉のせいで、むずかしかったです。一つ食べてみたら、あんこがきらいでも、けつこうおいしかったです。作ったもちを食べる時、きなこもちしかおなかに入らなかつたけど、おいしかったです。

**がんばろうよ豊浜っ子!!**

ポイスカウト 植田 准次

最近仕事もあって、街の中で子どもたちの姿をよく目にする。元気な声も耳に届くけれど気になることも少しある。背すじを伸ばしてほしいな。ほんの少し頑張ればできることだから。ズボンは下げすぎないようにしようよ。動くにはジャマだと思えば、わかるかな。そう。体をもっと動かせばわかるかな。中途半ばでなく、徹底して鍛えろといひかな。本物の鍛え方は心も鍛えてくれるから最善の方法だと思おうよ。頑張ろうよ、豊浜っ子!!



次は誰の鬼?

**秋のクリーン作戦を終えて**

高浜区長 中川 鈴也

クリーン作戦を終えて痛感したのは、大変ゴミ・空缶が多い事です。決められた場所に必ずゴミ・空缶を捨てれば良いのですが、私一人ぐらい守らなくてもいいといった事が重なった結果であると思います。今後はその様な考え方を捨て、区民一人一人が常に地域の美化意識を持ち、他の町の人から来てもゴミ一つ無く、とても綺麗な場所と言われる様な誇りを持てる東部区にしようではありませんか。最後に参加して頂いた方々へ感謝申し上げます。

**順送球**

豊小六年 山本 真弘

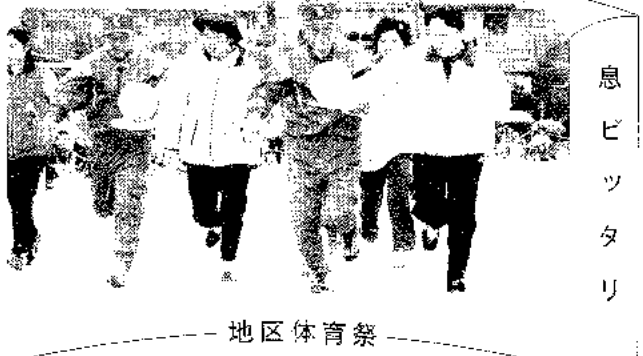
11月3日に体育祭がありました。ぼくは、順送球にできました。10月30日から、3日間練習しました。はじまる前、すごくきんちようしました。うしろの人にボールをわたすのは、かんたんだったけど、ボールをもらうのは、むずかしかったです。と中でボールがおちてしまいました。順位は2位でした。2位になれてうれしかったです。本番では練習の時より、上手にできてよかったです。たくさん練習してよかったですと思えました。

**体育祭に参加して**

鳥居 木学 隆次

保育園の子供から大正生まれの高齢者まで参加して数多くの演技並びに競技が行われましたが、出場選手の顔を見てみると本当に真剣に競技を行っており、感心致しました。競技ですから勝ち負けはありますが、特に小中学生の選手には全員に勝たせてやりたい思いました。尚、競技種目について一言申し上げます。五・六十歳代の方々の種目を設けてはどうかと思えます。年に一度の体育祭ですが、多くの人々との出会いがあり、親睦を深めることが出来たかと思えます。

**息ピッタリ**



地区体育祭



ガンバレ!!

親と子の 対話で築く 明るい家庭 ◀ ▶ 未来へと 心をつなぐ 地域の輪 ◀ ▶  
**ふれあい広場**

**小賢しく、認知り顔で**

豊小小学校長 日比 忠男

子供達が何かを決めるとき、私達大人は、子供達の主体性を尊重して、その決定を子供達の考えだけに委ねてしまうことがある。その結果、きちんとやれそうもないのに、子供達が決めたのだからと言ってそれよしとしてしまうことがある。本当にそれでいいのだろうか。子供達に望ましい方向を示してこそ大人の責任が果たせると思っている。小賢しく、認知り顔でいる人が、実は、子供達をだめにしてるのであると思う。

**街頭あいさつ運動を通して**

保育所長 中川 さとみ

7月より、月一度松田屋さんの前の橋の所に立ち小学生に声をかけています。通学団による登校は、昔と違い人数も減り男子・女子が一緒になっていました。こうした通学団による集団は朝のほんのひとときですが何か子ども達のかかわりの中で育っていくものがあると思います。「おはよう。」と声をかけるといろいろな反応があります。これからの社会生活の中であいさつは心と心を結ぶパイプだと思えます。地域の子とも達にも豊かな心が育つよう願っています。

**家推協活動に参加して**

豊中PTA 斉藤 剛徳

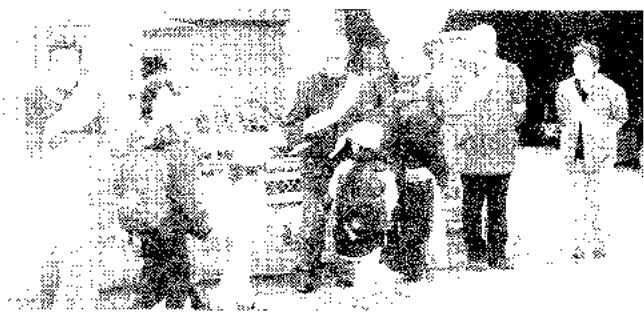
豊浜地区家庭教育推進協議会の委員としてベテランながら一年間活動させて頂きました。耳障りに感じた事は、小中学生の習字・ポスターの審査です。この作品も個性のある作品に仕上がっているのを審査するのはたいへんでしたが、楽しく、ほのほのとした気持ちにさせていただけました。今後共、この様な活動を中心に、又交通安全の立啓、そして地域美化等に力を入れていければ、更に充実した活動ができると思えます。今後共家推協の活動に期待しています。

**あいさつ運動**

厚生保護 山本 智恵子

家推協行事の交通立哨をかねたあいさつ運動に参加させて頂きました。「おはよう」と声をかけた時、元気のよいあいさつが返ってくると安心いたします。か弱く元気のない声を聞くに淋しさを感じます。瞬時に通り過ぎる子ども達の声は表情のあらわれでもあります。非行や社会悪から子ども達の健康的な心を守るためにも、一日一日を活力のある生活をさせていきたい。そのために、家庭での朝の一声あいさつを大切にしていきたいものです。

「おはようございます。」



早く食べたいよ——!